

ふあみさぽ ひるば

地域で子育て支援を行う「那覇市ファミリーサポートセンター」の活動をご紹介します。広報紙です。

ファミリーサポートセンターに登録し 協力会員として子育て支援に尽力いただいた方々

外間敬子さん	2006年2月入会	活動年数 16年
日高みよ子さん	2007年2月入会	活動年数 15年
神谷みゆきさん	2007年11月入会	活動年数 15年
新垣由美子さん	2008年7月入会	活動年数 14年
小川真奈美さん	2010年2月入会	活動年数 12年
賀数幸子さん	2012年2月入会	活動年数 10年

今年度、創立70周年を迎えさまざまな取り組みが行われた那覇市社会福祉協議会では、この節目の年に、貢献くださった方々への感謝を込めた記念表彰を行いました。活動から20年を迎えるファミリーサポートセンターからも6名の協力会員さんを推薦し、表彰されました。変わらぬ支えに、改めて感謝申し上げます。

外間敬子さん

早いもので、ファミサポに入会して16年。講習会受講後、初めてのサポート宅では「聞いてないよ～」の連続で、気持ちは早くもお手上げ状態になりました。16年間、テキスト通りにいかなかったことは山ほど、ドラマのセリフではありませんが「事件は現場で起きている！」でした。ボランティアの名のもとで綺麗事じゃないこともある中、なぜ続けられているのか？改めて考えると・・・、本当に助けが必要な親御さんからの「助かりました！」のひと言に尽きる気がします。私のサポートで一息ついて、際限なく続く親稼業に前向きになってくれる。私でも必要としてくれている人がいる！という心情ですかね。—「ありがとう！」



「助かりました！」の心からの言葉で、疲れもわっせわっせと消化される感じが根本(ねもと)なのだと思います。ボランティアを分析すると、なんだか大袈裟になってお恥ずかしいですが、それと、お子さんたちの笑顔や泣き顔等の表情・しぐさを私の母性の糧として、たらふくいただいてもいるお陰で、身も心もずんずん大きくなっていきます。四十代から六十代へと体力的に同じようにはお応えできないこともありますが、これからも声がかかればできる限りお手伝いしたいと思っています。

小川真奈美さん

あっという間の12年ひとめぐりです。登録したころは子どももまだ成長途中で気持ちはあってもなかなか時間は思うに任せず、私にできることは限られていましたが、思い返せば、だからこそ働きながらの子育てに寄り添うことができたと思います。時は流れ、手のかかる子育ての時間からはステージが変わり、



少しはお手伝い出来ているかなと思います。サポートをしているお子さんを見ると、自分の子育ての頃が懐かしくもあり、お互いさまの気持ちを新たにできます。

会員数内訳 依頼会員 2,628人 協力会員 283人 両方会員 51人 合計2,962人

令和4年度活動実績(令和5年2月まで) ... 4,043件

活動内容ベスト10

1位 子供の習い事の援助1,189	6位 保育所・幼稚園の送り266
2位 保育所・幼稚園の迎え503	7位 障がい児の援助195
3位 育児の手助け431	8位 学校・学童への送迎181
4位 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 ...340	9位 保育所・学校等休み時の援助150
5位 保護者等の外出の場合の援助293	10位 放課後児童クラブの迎え・終了後の預かり75

今年度の活動を振り返って

3年目となったコロナ禍でのサポート活動。陽性者数の推移に日々注意を向け、対策をとりながら窓口業務を行いました。市民生活は徐々に平常に向かっていくものの、年間の依頼件数だけをみた場合令和元年度(7,002件)の約60%となっています。依頼件数には含まれないキャンセル件数が1,000件を超えることから、保護者の方々の慎重度はまだ続いていることが窺えます。また、慢性的協力会員不足が続いており依頼にお応えできなかったサポートも少なくありませんでした。今後も、外に向けたファミサポのアピールを行ってまいります。

令和4年度活動あれこれ

令和4年は、内外でのスタッフ研修や定例会の縮小開催など、継続した新型コロナ対応で行事を行う一方、出張登録会、子育て支援拠点の開拓など初めての試みにも挑戦しました。

出張登録会実施

サポーター(サブリーダー)さんの応援を受けて、小塚児童館、繁多川公民館で出張登録会が実施され、窓口まで出向くのが困難な近隣の方々が、この機会に訪れていました。



フォローアップ研修

依頼者のみなさんの大切なお子さんを預かる支援。ファミサポの協力会員には数年ごと救急救命などのフォローアップが推奨されています。4年度は、那覇市消防本部の救急隊員の方々に講師に招き、救急救命講習を実施することができました。



10月全国アドバイザー研修・交流会に参加

短い時間でしたが、顔を合わせ意見交換できる久々の全国研修になりました。那覇市からは高野センター長が大阪会場に参加したほか、アドバイザーもオンラインで参加しました。

沖縄県ファミサポ連絡協議会アドバイザー情報交換会・交流会

12月、こちら県ファミサポ連絡協による久しぶりの開催。日々実務に携わる県内各地の担当者が、発表者の話に熱心に聞き入っていました。



「那覇市のファミサポを考える地域円卓会議」開催!

2月、公益財団法人みらいファンドおきなわの協力を得て、事業の課題整理を行いました。担い手不足など課題は大きいです。



保育サービス講習会を開催!

令和4年度は7月と2月の年2回実施が数年ぶりに実現し、合わせて21名が修了。新しいサポーターが誕生しました。



窓口が移転、令和4年度もありがとうございました!

令和4年4月に窓口が那覇市総合福祉センターの2階から1階に移転して1年になります。このフロアには、福祉センター事務所のほかに児童クラブや児童館、老人憩いの家などの施設があり、様々な世代交流の場で業務を行っています。



季節のイベントを盛り上げる1階スタッフと共にハロウィン仕様のアドバイザー4人

ファミサポができること・できないこと

- 保育園のお迎え
- 育児の手助け
- ママやパパのリフレッシュ
- 保護者の地域活動への参加



- × 依頼は必ずセンターを通してください
- × 登録したお子さん以外のサポート
- × お子さんの引き渡しは必ず大人の方で
- × 家事のサポートは出来ません
- × サポーターの車に保護者は乗れません
- × 子どもの受診



依頼内容に迷ったときは電話でお問合せください。 ☎098-857-8991

『那覇市出産・子育て応援事業』をご存じですか?

すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するために、国の「出産・子育て応援交付金」を活用し妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じる伴走型相談支援(*1)と経済的支援(*2)を一体的に実施します。

(*1) 伴走型支援

親子健康手帳交付時の面談、保健師や助産師等による面談、新生児訪問事業、こんにちは赤ちゃん事業等による面談

(*2) 出産応援ギフト・子育て応援ギフト

妊婦一人あたり5万円、児童一人あたり5万円

利用対象者や支給額、申請に必要な書類、受給方法については下記に問い合わせください。

那覇市保健所地域保健課 (母子包括グループ) ☎098-853-7962

